



飛翔

伊仙町立犬田布中学校

犬田布中キャッチフレーズ **飛翔の教育**
「心地よいあいさつ」「輝く瞳」「自立」

HP アドレス <http://www.t2.toku-vision.com/~inuchu/>

知的体力を養おう

校長 高瀬 茂

コロナ禍の中で不要不急の外出を控え、家で過ごすことが多くなった今年の7月5日、大阪市に「子どもの森中之島」図書館を建築家の安藤忠雄氏が寄付したことを知りました。安藤氏は「子どもたちに、多様な本を手にとってもらい、無限に創造力や好奇心を育ててほしい。本の中の言葉や感情、アイデアに触れ、世界には自分とは違う人や暮らしが在ることを知ってほしい。」と熱い思いを話されています。また、人生80年から90年（平均寿命は、男性81歳、女性87歳）の時代に突入している現代において、豊かな人生を送るためには、健康な体力（行動する体力・病気から身を守る防衛体力）に加えて「知的体力」も養ってほしい。とも言われています。知的体力とは、考える力（思考力・判断力・表現力等）を意味しています。

一日の生活において学習すること以外の余暇の時間に、読書をしたり、音楽を聴いたり、休日に映画を見たりするなど、様々な文化活動に触れることで創造力が養われ、気分転換にもなります。秋の夜長を読書に親しむのはいかがでしょうか。

私が最近読んだ本「ことだま」の一文を紹介します。ソフトバンクホークスの工藤公康監督のことば

「やってみる」

やらないことには、結果が出るか出ないかわからない。先に答えを欲しがるのは、甘えでしかない。これは、失敗を恐れて守りに入る弱さは、人間なら誰しもあるだろう。行動する前にいろいろと悪い結果を考え、尻込みする。それはときに自分への甘えとなり、停滞の原因になってしまう。工藤公康監督は現役時代、トレーニングをしたら成績がよくなるかと聞いてきた若手選手に「わかんないよ」と応えている。そして、でもその成果が2、3年先に出れば、やってよかったと思うんじゃないの、と続けている。トレーニングしても成績がよくなるかどうかはわからない。でも、悪い結果を恐れてやらなければ、何も得られない。「答え」は先に出ているものではなく、後に残るものだ。



やってみるを言い換えると「挑む^{いど}」です。生徒会スローガンと同じです。私にとっての金言です。

12月の主な行事予定

2日(水)	避難訓練, ワンダフルタイム
4日(金)	ロードレース大会, 学校保健委員会, 1, 2年学級PTA, 学校評議員会
9日(水)	生徒集会, A L T来校
11日(金)	スクールカウンセラー来校
12日(土)	土曜授業, 飛翔DAY
16日(水)	全校朝会, 学級専門部会
18日(金)	生徒会専門委員会, 代議員会
19日(土)	徳之島中体連新人戦 (サッカー)
20日(日)	町クリーン作戦
22日(火)	A L T来校, キャリア教育講演会①
23日(水)	生徒集会, ワンダフルタイム
24日(木)	終業式, 大掃除, 地域生徒会
25日(金)	U13トレセンサッカー大会, ~26日 (大島地区選抜; 1年屋島輝星)
	冬休み (~1月7日)

おめでとう!

徳之島地区中学校新人総合体育大会
野球 優勝 (伊仙合同)
男子バレーボール 第2位
(面縄・犬田布中)

英語検定

3級合格

松岡 天真 (2年)
大郷 世那 (3年)
原 愛香 (3年)
基山 ここな (3年)



「アマビエ」と「ケンムン」
を組み合わせた「アマムン」
(デザイン; 里村正力さん, 奄美市)

本校生徒の11月第一週の家庭学習平均時間は、79分でした。(SMS週間より)

- ※ 1・2年生で90分未満の生徒が増加(6.6%), 部活動や習い事との両立を目指そう!
- ※ 家庭学習の習慣化として60・90運動の実践(中学生は90分をめやすとする)

文化祭 (10月30日)



テーマ学習：一日体験学習 (11月11日), 発表会 (11月14日)

